

# 神戸大学突破カリキュラム

2次試験

対策のポイント

## ◎ 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事	期末テスト 三者面談								
トライ対策スケジュール	トライの夏特訓 スケジュールなし		2学期内申点対策 スケジュールなし			冬特訓 私立直前対策 スケジュールなし		公立直前対策 スケジュールなし	
ポイント	・基礎力を徹底的に身に付けてセンターで80%取れるように！ ・予備校模試を受けて本番での時間間隔を身につける！		診断テスト対策 スケジュールなし		三者面談 志望校相談	三者面談 志望校相談②		三者面談 公立判定診	

## ◎ こういう生徒にお勧め！

- ・神戸大学入試の傾向に沿った対策を受けたい方！
- ・苦手単元のみの特化して集中授業を受けたい方！

## ◎ 対象エリア

対象学年：高1～高3 浪人生  
 対応地域：関西全域  
 指導期間：お申し込み時から受験日の月末

## ◎ 対策の特徴

- ①FAX家庭教師で、家庭教師がない日も質問サポート！
- ②センター試験後に、2次試験に向けての個別面談実施！
- ③後期の小論文対策は、プロ家庭教師とFAX添削にて徹底指導！

## ◎Data Mining 2次試験

国語	試験時間100分。現代文、古文、漢文の3題から構成（経営学部80分で現代文と古文のみ）。傾向として文章量が多く、特に現代文は時間がかかる。よって、古文と漢文をあわせて40分～50分くらいで片付ける必要がある。
数学	（文系数学）試験時間は80分で大問3問で構成。レベルは基礎・標準問題が中心。必ず毎年のように出題される単元として「ベクトル」「微積分」「図形と方程式」が挙げられる。しかし、偏った学習は禁物。国公立の2次試験特有の複合問題も出題される。満点を目指すつもりで学習しなければならない。一般的な合格イメージとしては3問中2問完答＋部分点といったところである。（理系数学）試験時間は120分で大問5問で構成。標準からやや難といったレベル。京大、阪大のような超難問はない代わりに、最低65%は得点しなければならない。
英語	試験時間80分。読解量として1500～1800語で推移。問題構成として長文読解が3題、和文英訳/自由英作文のいずれか1題出題される傾向にある。全体的に標準レベルだが、時間との勝負なので相当な速読力が要求される。
物理	試験時間60分。大問2問で構成。傾向としては1問は必ずといっていいほど電磁気から出題される。もう1問は波か熱というのが毎年のパターンである。レベルは京大や阪大と違い、難問は出題されないが答えを導くプロセスが非常に重視されるので日ごろから答えがあってもいい、というスタンスの勉強では合格できない。記述力重視のため、物理用語や法則を正確に覚え、書けるようにしておく必要がある。
化学	試験時間60分。大問4問で構成。傾向としては化学理論1問、無機化学1問、有機化学2問で構成。1問あたり15分の計算になるので素早く、正確な解答力が求められる。出題割合は有機分野が重視されている。繰り返し、類似テーマで出題されることが多いので過去問が一番の参考書になる。